

ルサ相泊地区における新たな捕獲手法の試行結果 (現行法令下でも可能なシャープシューティング的手法)

実施手法

- ・ 牧草ロール(ラップサイレージ)と乾草ブロックを誘引餌として使用(1月末～)。
- ・ 誘引場所をルサ相泊地区内に3カ所(A, DおよびE地点:図3-1)設定。目視と自動撮影装置でシカ誘引状況をモニタリング。
- ・ 各種ブラインド(布製ドーム型、プラスチック製箱型、コンパネ+ステンレス単管の壁、雪を積んだ壁)と爆音機を設置。爆音機はブラインド付近に設置し、発砲音へのシカの慣れ(馴化)を期待。
- ・ 4/14以降はA地点の誘引餌脇に2台目の爆音機を設置し、着弾音への慣れも期待。
- ・ ブラインドの中または陰より、原則3頭以下の群れに対してのみ発砲(頭頸部をライフルまたはハープライフルで狙撃)。発砲対象群の遠隔的安楽死・全頭捕獲を目指した。

3月のルサ川河口右岸(A地点)における捕獲試行は、「羅臼町鳥獣被害防止協議会」による事業。

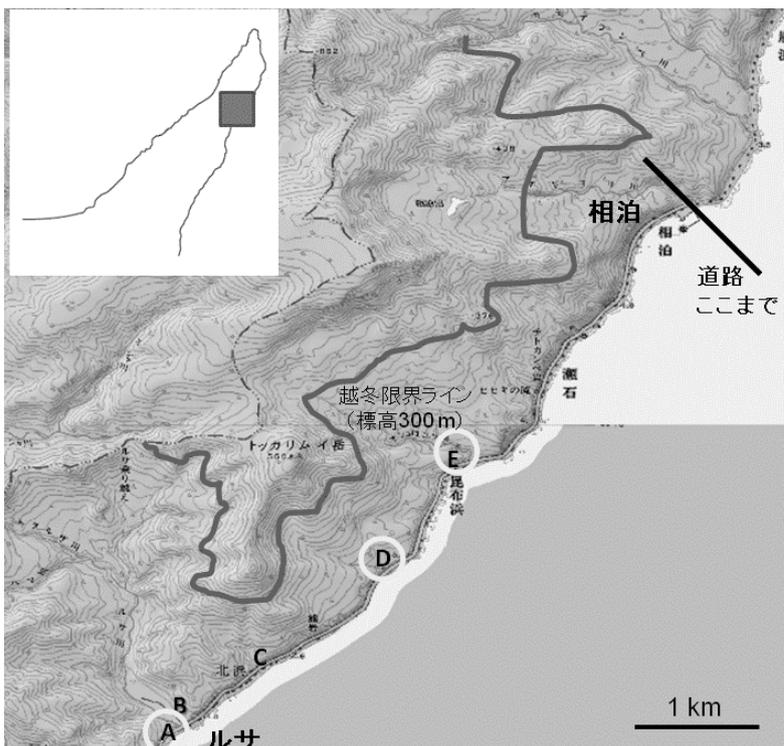


図 3-1. 事業実施地域

捕獲実施日、各実施日のシカ出没状況および捕獲結果

- ・ 3月に4日間、4月に5日間の計9日間、シャープシューティングによる捕獲を試行。

表 3-1. シャープシューティング (SS) の結果一覧

捕獲日	地点名	射手 の 人数	射手のブラインド内/陰 待機時刻 待機 時間(分)	餌場周辺に エゾシカが視認 された時間(分)	発砲可能な 頭数状況の 発生回数	左記状況 下の 群れ構成	発砲回数 (発射弾数)	捕獲 頭数	逃走頭数 (無傷)	逃走頭数 (負傷)	
3月13日	D	3	13:40-15:54	134	53	2	2/f1 3	4 0	3 -	0 -	0 -
	E	2	13:33-16:30	177	0	0	-	0	-	-	-
3月16日	E	1	14:36-15:53	77	16	2	2 2	1 3	1 0	1 1	0 1
3月19日	A	3	11:45-16:35	290	142	2	1/ 2/f1 3	8 3	4 1	0 2	0 0
	D	2	12:15-16:50	275	105	0	-	0	-	-	-
	E	1	17:09-17:30	21	0	0	-	0	-	-	-
3月20日	A	1	14:30-17:20	170	134	1	1/ 2	2	2	1	0
	D	1	14:30-17:30	180	64	1	2/f1	2	0	3	0
4月8日	A	2	13:30-17:10	237	86	3	3/f1 1/f1 1	3 3 1	3 2 1	1 0 0	0 0 0
	A	2	13:15-16:50	175	16	3	1 2 1/ 3/f1	2 6 8	1 0 4	0 2 1	0 0 0
4月19日	A	1	13:05-18:05	300	0	0	-	0	-	-	-
4月22日	A	2	14:30-18:00	210	3	1	2	1	0	2	0
4月23日	A	1	17:12-17:15	3	2	1	3	2	1	2	0
合計		22		2079	621	16		49	23	16	1

死体回収の中断は待機時間から除く f: 0歳子ジカ

- ・ のべ 34 時間 39 分の待機中に少数群に対する発砲機会を 16 回 (約 130 分に 1 回) 得て、計 23 頭の捕獲に成功。少数群の全滅に成功したのは 3 回のみ。
- ・ 視界内にいるシカが 3 頭以下という状況はほとんどなく、「多すぎて撃てない」状況が長時間続いた (総待機時間の約 30 %)。待機中の最大同時確認頭数は 32 頭。
- ・ 射手 2 人の同時発砲はタイミング合わせが困難だったため、途中から発砲の順番を決める方式に変更。
- ・ 捕獲した 23 頭のうちメス成獣は 14 頭、妊娠率 100 %。

シカの警戒心など

- ・ 誘引用の餌には 1~2 日以内に餌付き、同時的には最大 30 頭前後が誘引された。
- ・ 餌が豊富にある状態下では、24 時間ほぼ切れ目なく餌場に出現した。
- ・ ブラインドと爆音機にも短期間で慣れ、捕獲実施時期には爆音機が鳴っても無反応か、頭部を少し上げるだけで採食を続けた。
- ・ おそらく爆音機の効果により、銃声に対する反応も鈍化。一旦逃走しても途中で 1 回以上立ち止まった。
- ・ ただし誘引餌付近で倒されなかった個体は、やや遠い林内で立ち止まることが多く、群れの全個体を頭頸部狙撃で倒すことは困難だった (結果的に前胸部狙撃も併用)。
- ・ 捕獲実施当日や翌日も、餌場には別個体が散発的に出現した。
- ・ シカは銃声には慣れたが、着弾音にも慣れるか否かは不明。
- ・ 誘引餌のすぐ脇に 2 台目の爆音機を設置した日 (4/14) 以降、シカは爆音機が停止している夜間にならないと、誘引餌に集まらなくなる傾向が認められた。ただし雪解けによ

